

昭和49年度 和歌山県文化賞

た ばやし よし のぶ
田 林 義 信

住 所：和歌山県和歌山市

出 身 地：和歌山県

生 年：明治39年

◎業績及び経歴

昭和11年広島文理科大学国文学科卒業後、中学教官を経て、昭和24年和歌山大学教授となり、同47年退職されるまで、国文学、特に「古今和歌六帖」の研究に献身され、文学博士の学位もこれにより受けられている。

昭和27年刊行の上巻、同30年の下巻「校証古今和歌六帖」は現在稀覯本となっている。

また賀茂真淵歌集の研究中、戦災で原稿を消失されたが、「賀茂真淵歌集の研究」に収められている真淵の歌は、流布本「賀茂真淵全集本」の約倍数におよぶ労作である。

その他「和歌文学新論」「近世和歌の地方発展」などを研究発表され、歌集「祈りの季節」を刊行されている。

和歌山大学退官後も、文部省国立国文学資料館調査員を委嘱され、近畿圏特に和歌山県下の国文学に関する資料を調査されているが、すでに和歌山大学の紀州藩文庫、和中家文庫の所蔵本のマイクロ化は半ば終わっており、その他、熊野三山、高野山諸寺院の古文献等の永久保存の仕事も進められている。

また氏は昭和24年以来、短歌誌「垣穂」を主宰され地域文化の向上に尽くされている。